

別紙工 高槻市児童手当・児童扶養手当システム標準化以降業務に係るプロポーザル評価基準書

項番	項 目		配点	評価の視点	
1	事業者に関する項目	業務実績	10	(1)	児童手当・児童扶養手当標準準拠システムの導入実績について、本業務を履行するのに信頼に足る実績であるか。（実績が同数の場合は同じ評価とする）
2		業務実施体制	10	(2)	要員数、体制、（市と提案事業者との分担も含めて）役割分担が明確にされ、かつ要員数や実施体制は、業務を確実に実施できると考えられる提案であるか。
				(3)	プロジェクトマネージャ、プロジェクトリーダー及び担当技術者の児童手当・児童扶養手当システムの導入実績は、本業務を履行するのに信頼に足る実績であるか。業務の責任者として対応可能な専門知識・ノウハウ等の蓄積があるか。
3	システム開発に関する項目	スケジュール	5	(4)	市と提案事業者との役割分担等を含め、スケジュール及び作業工程が具体的に設定され、現実性・妥当性のある提案であるか。リスクを洗い出し、その対応策をふまえたスケジュールとなっているか。
		機能・帳票要件	20	(5)	機能要件について、本市の要求機能（実装必須機能・オプション機能）に対する達成度は優れているか。
				(6)	帳票要件について、本市の要求機能（実装必須機能・オプション機能）に対する達成度は優れているか。
		移行計画	5	(7)	業者の実績とノウハウをふまえ現実的な移行計画が立案できているか。 ・業務等への影響を最小化する方策をふまえた移行計画が検討できているか。 ・システム切替時における新旧システムでの作業について深く検討できているか。 ・職員の作業負荷が軽減される方策があれば、その提案内容を評価。
		研修計画	5	(8)	本番稼働後の市民への問い合わせに対して円滑に対応できるように、新システムでの業務を理解しやすい研修計画が立案できているか。 （研修内容・研修教材等、習熟度が低かった場合の対策、問い合わせ頻度の高い質問及び回答の周知、人事異動後の新規要員への研修の考え方など）
		セキュリティ対策	5	(9)	開発時・運用時を通して、適切なセキュリティ対策が講じられているか。 ・システムの運用面：OSのセキュリティパッチ、ウイルス対策ソフトの導入、ログイン認証など ・人の運用面：定期的なセキュリティ研修の開催、記録媒体利用簿の運用など
4	にシ関スする△項目守	システム保守	10	(10)	保守内容が充実しており、長期的な契約締結に値する業者であるか。 （標準保守サービス内容・調査依頼・システム障害・人事異動によるシステム異動処理・制度改正等のバージョンアップ対応・仕様変更時のマニュアル整備など）
5	その他	独自提案	10	(11)	その他、上記以外で本市に有益な提案などはされているか。
6	見積価格項目に関する	見積額	20	(12)	本業務の見積額（システム開発費用及びクラウド利用料）は経済的であるか。 （全提案者の最低見積額／当該提案者の見積額）×10点　小数点以下切り捨て
				(13)	本システムのランニングコスト（保守費用及びクラウド利用料）は経済的であるか。 （全提案者の最低見積額／当該提案者の見積額）×10点　小数点以下切り捨て
			100		